ｐ

**特別活動の事例**

【つながり】

体育大会で学んだことを生かし，学級や個人の課題を解決するための行動目標を決定し，課題の解決につなげようとすることができる。

【考え・基礎知識】

体育大会の取組を振り返り，自他の頑張りに気づき，説明することができる。

【応用・ひろがり】

行動目標を実践し，学校生活を改善する中で，新たな課題を発見し，解決しようとすることができる。

◇　学年　　第２学年

◇　題材　「体育大会を振り返り，これからの学校生活に生かそう」

学級活動（１）ウ　学校における多様な集団の生活の向上

◇　目標　　体育大会で学んだことを生かして，これからの学校生活における行動目標を決定し，実践につなげることができる。

|  |  |
| --- | --- |
| 時 | 主な学習活動 |
| 事前の指導 | 【個々の生徒が体育大会での自他の頑張りを振り返る。】  ・体育大会では，自分が頑張るだけでなく，他者の頑張りにも注目する意識をもつよう，体育大会前に指導する。  ・体育大会後の最初の朝のＨＲで，「体育大会振り返りカード」を記入する。  ・休憩時間等に学級委員を含めた班長会を開催し，学級委員及び班長が，生徒全員が書いた「体育大会振り返りカード」で学級の仲間の思いを把握し，学級活動の流れや発言内容等を検討する。  ・帰りの会で本時の予告をするとともに，学級のＭＶＰを紹介するなど，意欲付けを行う。 |
| １ | 【話合い活動を通して個人の行動目標を決定する。】→本時  ・話し合い活動を通して集団及び個人の思考を深める。  [考え・基礎知識]から[つながり]に至る部分  ・個人の行動目標を決定する。  ・学級全体で課題を共有する。 |
| 事後の指導 | 【行動目標の実践・評価・振り返りを行う。】  ・決定した行動目標を教室に掲示する。  ・決定した行動目標を実践するとともに，定期的に評価・振り返りを行う。 |

◇　本時の目標　体育大会を通して学んだことを生かし，今後の生活における行動目標を決定することができる。

◇　学習の流れ（１時間目/全１時間）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意事項（◇）  **（◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て）** | 評価規準〔観点〕  （評価方法） |
| １　課題意識をもつ。  体育大会を振り返り，自他の頑張りを認め合う。  ２　本時のめあてを確認する。  めあて　体育大会における自他の頑張りに気づき，今後の生活における行動目標を決定することができる。  ３　体育大会で学んだことを班で話し合う。  体育大会で学んだことを，班で話し合い，これまでの個人の課題を振り返る。  ４　個人の行動目標を決定する。  体育大会で学んだことを生かし，個人の課題を解決するための具体的な行動目標を決定する。  ＜予想される生徒の反応＞「仲間を大切にする」，「仲間のいいところに目を向ける」，「仲間に迷惑をかけない」，「学級での役割をやりきる」，「時と場に応じた行動をする」，「他の行事でも全力を尽くす」，「１年生の見本となる行動をして，頼られる２年生になる」　等  ５　本時のまとめをする。  生徒のまとめ例　　仲間を大切にするためには，仲間をしっかりと見なければいけないと思う。頑張っているところは認めて，できていないところは注意し合える学級にしたい。体育大会では，みんなが役割を果たし，気持ちの切り替えをしながら取り組めたので，日常の生活でもできるようにする。  ６　本時を振り返り，今後の生活につなげる。  [応用・広がり]を意識した発問  みんなの心掛けや協力で，学級や学校において，もっと改善していけることはないだろうか。 | ◇事前に記入した「体育大会振り返りカード」を読み返し，体育大会を振り返らせる。  ◇体育大会の写真を提示する。  ◇「体育大会振り返りカード」で互選されたＭＶＰの生徒や他学年へのメッセージを紹介する。  ◇事前の指導において確認した「体育大会振り返りカード」の内容などを踏まえ，体育大会で学んだことについて班内で班長を中心に話し合わせる。  ◇頑張れたことや，もっと頑張れたことなど等に分類させる。  ◇自分だけでなく，学級の仲間の頑張りや他学年の変容にも目を向けさせる。  ◆話合いに参加しにくい生徒には，自分の書いた「体育大会振り返りカード」を班員に提示させる。  ◇班での話し合いを踏まえ，個人の行動目標を決定させる。  ◆決定が難しい生徒については，体育大会までの自分の姿，体育大会での自分の姿，ＭＶＰとして選んだ仲間の姿，先輩後輩の姿など，様々な人の姿を思い出させる。  【発問】「個人の行動目標を実践していくためには，どのようなことを心掛けて生活しなければならないだろうか？」  ◇お互いの行動目標や本時の活動を通して気付いたこと等を班ごとで交流させる。 | ブレーンストーミング等の技法を用いることを通して，生徒からより多くの意見を出させるようにする。  ・日常生活における自己の課題を見出し，よりよい解決方法について考えている。  〔集団や社会の一員としての思考・判断・実践〕  （観察・ワークシート） |